

個別ゼミ概要(オリエンテーション配付、WEB掲示用)

業科目名	如水会寄附講義「キャリアゼミ」(如水ゼミ)			
ゼミ名	「商社」			
講師(幹事)	美原 融(三井物産戦略研究所プロジェクトエンジニアリング室長、東洋大学大学院客員教授、大阪商業大学客員教授)	大学教員	筒井泉雄教授	
学期	冬	開講時間	水曜 4時限	
<p>【授業の目的・到達目標と方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> わが国独自の存在として発展してきた総合商社とは何か。その機能、役割、現代社会におけるあり方を理解する。具体の事業分野や多種多様な商社の取り組み、プロジェクト等、多様な事業展開の中から商社の実態を解きほぐし、企業としての可能性、将来性、活力、課題を議論する。 毎回、異なった主要商社、異なった事業分野、経験をお持ちの先輩講師により、その経験を踏まえて、オムニバスの現代商社の最前線における事業活動や経験を語ってもらい、異なった切り口から、企業類型としての商社とそのビジネス・モデルを把握することを授業の目標とする。 商社の付加価値の源泉、グローバルな展開の理由、資源価格高騰による最近の良好な業績等の背景を考えると共に、IT や電子技術、ライフスタイル等の先端的事業への取り組み、資源開発などの戦略的海外投資事業など、最も今日的话题や事業の中から、企業としての戦略性や取り組み方を理解することにより、その将来性、可能性を考え、議論する。 校外学習として下記講義に加え、実際にいずれかの商社を1社訪問し、会社説明を受けるとともに、若手先輩と交流したり、企業の現場を見て、質疑応答、議論を試みることを授業の一環として実施する。 予め期末レポートの課題を提示し、一つの共通の問題意識をもって異なった講義を受け、議論に参加するという手法をとり、その結果をレポート課題とします。 				
<p>【授業の内容と計画】 役職は平成23年3月31日現在 授業の主要なテーマと予定講師は下記の通りとするが、状況次第で変更することもある。冬学期会社訪問は三菱商事株式会社殿を訪問する予定(詳細日程・内容は後刻決定)。</p>				
月日	講師名	卒年	社名・役職	テーマ
10月12日	美原 融 (みはら)	昭48 経	三井物産株式会社 三井物産戦略研究所プロジェクトエンジニアリング室長	総論(歴史、発展の経緯、基本的機能と役割、各社の営業戦略・特色:商社って、何している会社?)
10月19日	鳥居敬三	昭54 商	丸紅株式会社 常務執行役員 エネルギー第一部門長	To be announced later
11月16日	和田哲郎	平6 社	三菱商事株式会社 新エネルギー・電力事業本部 新エネルギー電力事業ユニット 太陽熱発電開発チームリーダー	「新エネルギーの取り組みについて」
11月30日	治良博史 (はるなが)	昭51 社	住友商事株式会社 メディアライフスタイル事業本部 ライフスタイルリテイル事業本部 海外事業推進センター長	小売業界におけるダイレクトマーケティングについて ーテレビ通販を通じてー
12月7日	貝塚寛雪	昭61 商	伊藤忠商事株式会社 食料カンパニー 食品流通部門長代行	商社における食料ビジネスについて
12月14日			校外学習予定日(三菱商事)	

個別ゼミ概要(オリエンテーション配付、WEB掲示用)

12月 21日	水口健治	昭57経	双日株式会社 市場開発部長	プラント輸出、新技術導入ビジネス。ビジネスハンターとして
※10月26日及び11月2日は予備日				
【テキスト・参考文献】				
<ul style="list-style-type: none">・ 「総合商社 商権の構造変化と21世紀戦略」 島田克美・黄孝春・田中彰共著、ミネルバ書房 2003年・ 「総合商社 商社機能ライフサイクル」 岩谷昌樹・谷川達夫共著 税務経理協会 2006年・ 「商社2012」 美原融 監修 産学社 2011年				
【受講生に対するメッセージ、希望】				
<ul style="list-style-type: none">・ 現場の一線で活躍している先輩講師と交流する良い機会でもあり、議論と交流の中で、学生諸君の積極的な参加や発言を期待します。ゼミ形式ゆえ、一方的にならないよう、あくまでも双方向的な形で実施します。・ 資源や原料価格の高騰により、総合商社はかなり良い業績にあります。またグローバル化に伴い、各社の海外戦略もより積極的になりつつあり、商社のあり方が注目を浴びています。過去商社不要論が、何度も叫ばれながら、なぜ商社はこれを跳ね除けて発展してきているのでしょうか。商社とは何か、会社とは何か、働くことは何かを講師の先生方と議論し、考えて下さい。・ 新聞、ネット等による経済活動報道等をも参考とし、講師を質問攻めにするくらいの問題意識、気力をもってゼミに参加してください。またどんどん意見を述べてください。				